

令和6年度 学校経営計画書

1 目指す学校像

- 自ら学び「社会に生きる確かな力」を身につける学校
- 保護者や地域から信頼され共生社会の実現に向けてその使命を果たす学校
- 教職員が夢を持って学校経営に参画し Well-being を実現する学校

(1) 教育目標 「よりよく生きるために」

豊かな心と健やかな体、逞しく生きる力を育てる。

「豊かな心」 幅広い興味関心と探求心、人を大切にする精神

「健やかな体」 心身の健康と体力、スポーツへの関心

「逞しく生きる力」 変化への対応力、問題解決力、夢の実現と社会貢献

(2) 目標具現化の柱

【楽しく学び思考力を高める授業づくり】

ア 成長を支える視覚教育の充実と基礎学力・問題解決力を身に着ける授業実践

イ 効果的学びに導く教育 DX の推進及び ICT 機器・情報等活用力を育てる授業づくり

ウ 社会課題を意識し経験・視野を広げる SDGs 教育及びキャリア発達に必要な力を培う指導の充実

【安全で豊かな学校生活】

エ 健康・栄養に関する知識と理解を深め体力向上につながる体育的活動の充実

オ 緊急対応力と支援活用力向上に向けての避難訓練の充実及び防災体制の見直し

カ 仲間と協働し達成感を共有する経験及び自己肯定感を高める活動の充実

【成長を支える支援体制】

キ 視覚障害教育センターとしての相談支援機能の強化及び相談担当者の育成

ク 交流及び共同学習の充実と幼児児童生徒が地域で豊かに生活できる基盤づくり

ケ 保護者、地域、関係機関に対する教育活動の効果的な発信及び連携強化

【Well-being を実現する学校】

コ 視覚障害教育（幼児児童生徒理解・視覚支援・教科指導）を楽しく学ぶ環境づくり

サ 10 年先を見据えた学校づくりに向けて自身の強みを生かし協働できる組織づくり

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
楽しく学び思考力を高める授業づくり	ア 成長を支える視覚教育の充実と基礎学力・問題解決力を身に着ける授業実践	・触察や概念形成、言語活動を重視し基礎学力の定着を図る授業づくり	・幼児児童生徒の基礎学力の定着を図ることができたと評価する職員 90%以上	各学部 研修課 自立活動課
		・県内3視覚特支間の教材共有推進	・教材共有への貢献又は活用ができたと評価する職員 80%以上	
		・専門家からの学びを共有し授業及び指導に生かす取組	・視能訓練士や歩行訓練士の指導助言を授業実践等に生かし学習効果が高まったと評価する職員 90%以上	
	イ 効果的学びに導く教育 DX の推進及び ICT 機器・情報等活用力を育てる授業づくり	・深い幼児児童生徒理解に基づいた教育課程の編成	・幼児児童生徒の教育ニーズに応じた教育課程を編成し、よりよい学びにつながったと評価する職員 90%	各学部 教務課
		・障害特性や発達課題に即した指導計画の作成及び活用	・個別の指導計画を有効に活用できたと評価する職員 80%以上	
		・主体的に課題を発見し解決後のゴールをイメージできる学習場面の設定	・幼児児童生徒が楽しく課題解決を経験し日常の疑問を発見し解決に向けて努力する力が育ったと評価する職員 80%	各学部・ 学科 研修課
		・教科横断的視点で命を守る教育を見直した授業研究の試行（指定研究）	・災害時に命を守る力を育成する授業実践の積み重ねにより、効果的な育成イメージが見えてきたとする教員 70%	
		・ ICT 機器やアプリ等の研修会、ミニ学習会等の実施	・担当する児童生徒の ICT 機器等への興味関心や活用力が昨年度より向上したと評価する職員 80%	情報課 自立活動課 図書課
		・図書室充実化計画推進と有効活用		

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
	ウ 社会課題を意識し経験・視野を広げるSDGs教育及びキャリア発達に必要な力を培う指導の充実	・SDGs教育における交流校等との共同学習充実 ・視野を広げる校外学習の充実と探求発表会等への参加 ・自己理解を深めるためのキャリアパスポート作成及び有効活用	・担当する児童生徒の視野が広がり、SDGsや世界情勢等への関心が広がったと評価する職員70% ・キャリアパスポートを有効活用し、児童生徒の自己理解が深まり社会参加への意欲が高まったと評価する職員70%	各学部 普通科 進路指導課 寄宿舎
安全で豊かな学校生活	エ 健康・栄養に関する知識と理解を深め体力向上につながる体育的活動の充実	・自身の健康を見つめ生活習慣を見直す保健指導 ・「心の健康」への関心を高める学習会の実施	・自身の健康を意識し生活習慣が改善できた児童生徒10人以上 ・「心の健康」を意識し生活習慣の改善が図れた児童生徒10人以上	保健課 生徒指導課 寄宿舎
		・食材への関心と理解を深める食育体験の充実 ・食に関する積極的な情報発信（ちょこっと食育充実）	・食や食材に関する理解が深まった幼児児童生徒10人以上	保健課
		・生涯スポーツへの関心が高まる発信と部活動の充実	・スポーツへの関心・運動意欲が高まったとする児童生徒10人以上	各学部
	オ 緊急対応力と支援活用力向上に向けての避難訓練の充実及び防災体制の見直し	・救急及び不審者対応等の学習会の充実 ・緊張感のある安全点検実施 ・活用しやすい防災計画書の作成（詳細版と簡易版） ・緊急時対応力向上のための体験的学習会の充実 ・専門家評価に基づく避難訓練の見直し・改善 ・被災時対応計画及び学校再開計画の作成・整備	・非常時に防災計画書を活用して行動できると考えている職員100% ・環境備品等の整備不良による事故0 ・様々な非常時を想定し見通しの持てた児童生徒15人以上 ・緊急時対応訓練や研修、または、緊急時対応マニュアルの効果があつたと評価する職員90%以上 ・被災時対応計画及び学校再開計画の策定	生徒指導課 研修課 寄宿舎
	カ 仲間と協働し達成感を共有する経験及び自己肯定感を高める活動の充実	・主体性と互いを認め合う力を育成する学級活動、部活動、生徒会・委員会・自治会・舎生会活動等の充実 ・学校生活における悩み等を相談できる体制の整備	・人権意識が高まり、相手の人権を尊重したかかわりができたと評価する幼児児童生徒及び職員80%以上 ・諸活動において自己肯定感を高める工夫ができたと評価する職員80%以上 ・学校生活全体を通して、自己肯定感を維持できたと答える児童生徒70%以上	各学部 生徒指導課 寄宿舎
成長を支える支援体制	キ 視覚障害教育センターとしての相談支援機能の強化及び相談担当者の育成	・保護者、園や学校、病院等と連携した教育相談の充実 ・視覚障害支援研修会、福祉体験学習、講演等外部要請への積極的な対応 ・効果的情報発信YouTube作成	・外部専門家との有効な連携ができたとして評価する職員100% ・相談者及び外部関係者の満足度90%以上 ・新規相談件数増加10件以上	教育支援 相談課
	ク 交流及び共同学習の充実と幼児児童生徒が地域で豊かに生活できる基盤づくり	・学校間交流や「交流籍」を活用した交流及び共同学習の充実 ・地域防災訓練等の地域行事への参加促進	・交流及び共同学習が有意義であつたと評価する児童生徒、職員80%以上 ・地域に関心を持って外出する機会が増えたと答える児童生徒60%以上	各学部
	ケ 保護者、地域、関係機関に対する教育活動の効果的な発信及び連携強化	・ホームページや学校公開、各種たより等を活用した広報活動による教育活動の啓発 ・YouTub等の効果的な情報発信の促進	・学校公開の内容が効果的だったと評価する参加者100% ・効果的発信方法の確立	各学部 教育支援 相談課

